

平成20年度実績事務事業評価シート (Aシート)

作成日：平成21年8月7日

整理番号	07-020101001-01		事業種別	一 般		事業態様	継続	
事務事業名	介護サービス等給付事業			区分	コード	名 称		
				会計	6	介護保険特別会計 (保険事業勘定)		
総合計画体系	前期基本計画	基本目標	3	款	2	保険給付費		
		名称	共に支えあうやさしいまちづくり			項	1	介護サービス諸費
	施策	3	高齢者福祉の充実	目	1	介護サービス等給付費		
				細目	1	介護サービス等給付事務事業		
	基本事業	4	介護サービスの充実と介護保険事業の円滑な運営	細々目	1	介護サービス等給付事務事業		
			枝番号					
				事務事業の根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有	介護保険法		
				<input type="checkbox"/> 無				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度 ~ 年度)				
事業概要 (事業のあらまし)	介護保険サービス給付費 (被保険者の認定区分：要介護1～5の保険者負担分) をサービス提供事業所へ支払う。							
計画等での位置付け	<input checked="" type="checkbox"/>	総合計画 前期基本計画主要事業			担当部課等	生活福祉部	高齢福祉課	
	<input type="checkbox"/>	自主的財政健全化計画 基本計画・構想・新規事業			担当係	介護保険係	記入者 遠藤 文芳	
	<input type="checkbox"/>	平成20年度重点事業			一次評価者 (課長等名)	佐藤 泰		

1 行動方針 (PLAN)

事業目的	対象 (誰を、何を)	介護保険サービス提供事業所 (国保連合会経由)、被保険者 (認定者)					
	意図→目指す成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護保険サービス給付の保険者負担分を、効率的に支出することで、被保険者への介護サービスを適切に提供する。	→	区分	指標名	単位	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	各種介護サービス提供事業所からの保険者負担請求分について、国保連合会を経由して支出する。	→	区分	指標名		単位	
				活動指標	① 施設サービス受給者数	人/年間	
				② サービス給付額	円		
				① 施設サービス受給者数	人/年間		
				② 居宅サービス受給者数	人/年間		

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

区分	年度	平成20年度 (決算)		平成21年度 (決算)		平成22年度 (決算)	
		経費	金額	経費	金額	経費	金額
直接事業費			(千円)		(千円)		(千円)
	負担金・補助及び交付金		1,244,430				
	①事業費計		1,244,430	①事業費計		①事業費計	
	人件費	②人数 (年)	0.50	②人数 (年)		②人数 (年)	
		③平均人件費	8,608	③平均人件費		③平均人件費	
	④=②×③	4,304	④=②×③		④=②×③		
総事業費 ①+④		1,248,734					
財源内訳	国庫支出金		285,863				
	県支出金		189,366				
	使用料及び手数料						
	地方債						
	その他		549,328				
一般財源		224,177					

○事務事業の実績

活動指標	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	① 施設サービス受給者数	人/年間	3,221	3,372	3,372	未定 (第5期)
	② 居宅サービス受給者数	人/年間	4,554	4,884	5,052	未定 (第5期)

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	① 認定者（要介護1～5）	人/年度末	758	813	841	未定（第5期）
	② サービス給付額	円	1,244,429,666	1,392,313,372	1,422,934,924	未定（第5期）

3 評価（CHECK）

【1次評価】

項目	区分	選択理由の説明	項目評価
目的 妥当性	1 意図が政策・施策体系と結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている → 介護保険制度の根幹となる保険給付	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 市が行うべき（関与すべき）事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 行う必要がある <input type="checkbox"/> 行う必要がない → 市町村の自治事務	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
有効性	1 目的を達成するための手段（実施方法）は有効か？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> やや有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない → 現行の保険制度に基づく給付方法	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 成果指標の目標値の達成状況は？	<input type="checkbox"/> 順調である <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない <input type="checkbox"/> 順調でない → 施設サービス給付の希望が多く、入所希望待機者が常時多数存在する。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
効率性	1 投入した事業費又は人員に見合った効果は得られているか？	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> やや得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない → 高齢化の進むなか、保険制度として不可欠であるが、将来的に現行制度が維持可能かは、国レベルで費用負担問題が重要。	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
	2 効率的な方法で実施されているか？	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> やや実施されていない <input type="checkbox"/> 実施されていない → 報酬改定や認定制度見直し等が年度毎に発生し、それらに対応したシステム改修費用等が随時必要となる。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切
公平性	1 受益者の負担が適正かつ特定の個人や団体に偏っていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 馴染まない <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> やや適正でない <input type="checkbox"/> 適正でない → 受益者（被保険者）は、法定自己負担のみ	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切

【2次評価】

全体評価	意見
<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不適切 <input type="checkbox"/> 不適切	

4 評価による行動（ACTION）

	【1次評価】	【2次評価】
	今後の方向性 方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性 方向性に対する取り組み (方針の指示)
20年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了 高齢化・核家族化のなか、サービス給付の増加が見込まれ、現行レベルの制度を維持するにも財源問題が生じる。市町村レベルでは、介護予防事業の展開が重要となるが、国レベルでは近い将来制度の見直しが予想される。	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
19年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
18年度	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の見直し <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了